



社会基盤を支える

古河機械金属

インフラ編

"FURUKAWA Supports Social Infrastructure" FURUKAWA has always played an active role in the support of social infrastructure. We will continue doing so into the future.
Net movie/2014/16:9/color/Stereo/Japan/All rights reserved by FURUKAWA CO.,LTD.

This Is A True Story.

To live with
FURUKAWA

WEBにてシネマPV公開中!

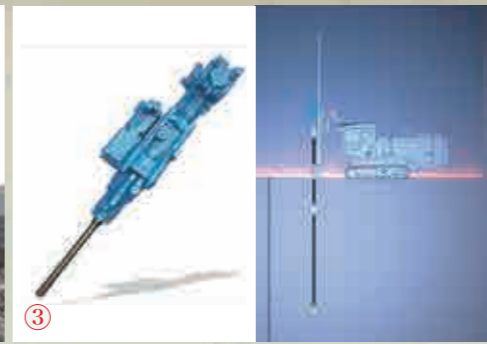
https://www.furukawakk.co.jp/kiaikinniku/movie/pv_infrastructure/



「社会基盤を支える古河機械金属 インフラ編」6min.

 **古河機械金属株式会社**

本社 〒100-8370 東京都千代田区大手町2-6-4
URL <https://www.furukawakk.co.jp>



インフラを 見てみる

「ここは砕石現場①。コンクリート原料となる砕石を採掘しています。油圧クローラドリル②が、岩盤を発破するための火薬をつめる孔を掘っています。ドリルの心臓部となる油圧ドリフタ③によりスピーディかつパワフルなせん孔作業を実現。一分間に約250回転、推力1〜2トン、打撃は2500回加わり、岩盤に孔をあけています。ロッドを継ぎ足し、深く掘った孔に火薬を詰め、発破します④。その後、大きな岩石を油圧ブレイカ⑤が小割りしていきます。岩石はこのように採掘され、大型ダンプで砕石プラントに運ばれます⑥。」

「採掘された岩石を破砕するプラント。ここで岩石を破砕、分級していきます。一次破砕機のジョークラッシュャ⑦で破砕された岩石をスクリーン⑧で分級し、さらに二次破砕機のコンクラッシュャ⑨で破砕していきます。この高圧型グライディングロール⑩は、石炭やコンクリート廃材の破砕も可能です。プラントで大ききごとに分けられた砕石⑪はセメントや砂と混ぜ合わされ、土木・建設に欠かせないコンクリートになります。また、砕石は道路の路盤材、線路の敷石⑫などにも使用されます。」

「ここは、トンネル工事現場です。山岳トンネルでは発破工法が用いられ、トンネルドリルジャンボ⑬が活躍します。日本では高速道路⑭や新幹線⑮などのトンネル工事に貢献してきました。今後はリニア中央新幹線のトンネル工事でも活躍が期待されています。都市部の地下や海底では、シールド工法でトンネルを掘ります。ここで出た土砂は泥水としてシールドポンプ⑯で運び出されます。こうして街から街へ道をつないでインフラを整え⑰、あたらしい建物や施設を造っていくのです⑱。」

「建設現場です。資材を積んだユニッククレーン⑲がやってきました。運搬、荷下ろし、設置作業などの支持を得ています。ラジコン装置⑳を使えば、玉掛けからクレーン操作まで、1人で効率的に行うことが可能です。トラックの入れない狭い場所や屋内では、コンパクトなミニ・クローラクレーンが活躍します㉑㉒。特殊な場所、特殊な用途に使えるため、世界中で活躍の場が広がっています。」

「インフラ整備の川上から川下までをご覧頂きました。このほか、ビルの解体現場や下水処理場㉓、火力発電所などでも、古河機械金属の各種製品が使用されています。」

フルカワが見えてくる

※シネマPV 台本より

